

連峰

山形市立第一中学校
第3学年通信 第8号
令和5年10月27日(金)
文責：

第39回東北中学校男子駅伝競走大会

令和4年11月7日(月)から始まった駅伝練習。1年間の総決算である東北中学校駅伝大会が、明日天童のNDスタジアムで行われます。本当に冬場の寒さのスタートから、夏の熱中症対策と過酷な練習を耐えて、明日の東北大会のスタート地点に立つことができた駅伝チーム。一人では耐えられない練習も、仲間となら耐え、自分の成長、チームとしての自信を持てるようになりました。明日は、これまで応援してくださった家族や一中生への感謝の思いを心に秘め、自己ベスト、チームベストの走りをしてもらいたいと思います。

僕はこの1年間、練習を休みたくなった時、もう無理だと思った時がたくさんありました。男子駅伝チームのキャプテンなのに練習できついことから逃げてしまうこともありました。ですが、チームの仲間や荒木先生の指導、家族、応援してくださったみなさんのおかげで成長を感じることができました。このメンバーでいつも練習してきたこと、僕は楽しかったです。この経験を生かして個人の次の大会への目標や受験勉強を頑張ります。
(キャプテン)

駅伝という競技を通し、「走り続けること」は、難しいものだと思った。練習のつらさや、ケガで走りたくない時もたくさんあった。しかし、自分のため、チームのため、歯を食いしばって走り続けた。だから東北大会では、今までの練習を信じ、積極的なレース運びをして、自己ベストを狙いたい。そして、支えてくれる人、応援してくれる人に感謝してレースを行いたい。
(副キャプテン)

私は、これまで練習を最後まで止まることなく走りきることが少なかったです。そのこともあり、駅伝を辞めてしまおうとかを考えることも多かったです。しかし、同じ駅伝の仲間が走っているところを見ると、もっと頑張れる勇気が出てくるのです。そのおかげで、最後まで辞めることなく、続けることができました。東北大会では、選手のサポートを積極的に行いたいです。

1年間、毎日のとてもキツイ練習に取り組んできました。練習がキツく何度も辞めようかと思ったときもありましたが、仲間達と競い合いながらこれまでやってきて、本当に良かったです。次の東北大会が最後の大会になるので今までの力を全部出し切れるよう頑張りたいと思います。

私は駅伝部に入ったとき辛すぎて何度も辞めようかと悩んでいました。それを駅伝部の仲間に伝えると「明日背中を押して一緒に走ってやるから、まずは走りきってみよう。」「あと一週間でいいから一緒に頑張ろう。」などと、励ましの言葉をたくさんかけてくれました。その言葉のおかげで練習や自主練を本気で続けることができました。私は、仲間にごく恵まれ、辛いはずの練習も楽しく続けることができました。そんな仲間や練習中に掃除をしてくださった一中生に感謝して、走りきります。

僕は1年生の頃から駅伝をしてきました。今までたくさんのキツイ練習があったけれど、仲間がいたからこそ乗り越えられたし、最高の監督がいたから、ここまで成長できたと思います。東北大会が最高の仲間との最後の走りなので、楽しみながら最後まで走りきりたいと思います。

今日の朝も最後のタイムトライアルでしたが、女子駅伝チームのみなさんに応援していただきました。これまで一緒に頑張ってきた仲間からの応援は嬉しいものです。

東北中学校男子駅伝競走大会
10月28日(土) 12:20スタート
天童 NDスタジアム

